

令和 2 年度第 1 回  
射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会会議録

1 日 時 令和 2 年 6 月 2 5 日（木）午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 0 0 分

2 場 所 救急薬品市民交流プラザ（いみず市民交流プラザ） 会議室 1 A B

3 出席者

(1) 推進委員会委員 1 2 名

宮嶋会長、新鞍副会長、矢野委員、義本委員、川口委員、渋谷委員、新中委員、小林委員、寺林委員、稲垣委員、岡田委員、武部委員

(2) 事務局 1 6 名

小見福祉保健部長、久々江福祉保健部次長、糸岡地域福祉課長、黒田介護保険課長、轟保健センター所長、松島市民病院看護部長、杉谷地域福祉課副主幹、政岡地域福祉課課長補佐、竹島地域福祉課福祉政策係長、作道地域福祉課地域支援係長、菓子介護保険課課長補佐、森山介護保険課認定係長、坂本保健センター健康増進係長、向山地域福祉課福祉政策係主任、坂井介護保険課主査、堀岡介護保険課主査

---

[会議次第]

1 開会

2 あいさつ

3 会長・副会長選任

4 議題

(1) 令和元年度の進捗状況等について

ア 射水市の高齢者人口及び要介護等認定者数の推移について

資料 1

イ 射水市高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の実施状況について

資料 2

(2) 第 8 期介護保険事業計画の策定について

ア アンケート調査の実施結果について

資料 3

イ 策定スケジュールについて

資料 4

5 その他

ア 保険者機能強化推進交付金を活用した保健福祉事業について 資料5

6 閉 会

[会議録]

事務局 [議題(1) 令和元年度の進捗状況等について 説明]

会 長 それでは、ただ今の事務局の説明に対して、何かご意見、ご質問はありませんか。

委 員 資料2の5ページ、「住民サポーターの研修」について、令和元年度の実績が214件ですが、令和2年度の計画は120件となっています。計画の件数について、もう少し多くても良いのではないですか。

また、「地域ふれあいサロン」の実績件数について、平成30年度と令和元年度を比較すると減っています。世話人の高齢化や、5万円の補助金では思うような活動ができない等いくつか理由があると思いますが、事務局はどのように考えていますか。

事務局 委員ご指摘のとおりサロンのグループ数は減ってきていますが、100歳体操への移行、「地域支えあいネットワーク事業による集いの場」の開催等により住民の活動量全体としては増加しているものと考えています。

「住民サポーターの研修」については、計画値が平成29年度の当初計画作成時に見込んだ数値であり、たくさんの住民の方に参加いただいていることがうかがえます。次期計画作成時にはこの実績数値を反映させて、より充実した計画にしたいと思います。

委 員 資料1の3に認知症高齢者（日常生活自立度Ⅱa以上）の推移が載せてありますが、認知症サポート医として、MCⅠレベルの人、軽度認知症の人を把握し、それ以上進行させないことが大切であると考えます。市としてのどのような取組を考えていますか。もう一つ、介護保険第1号被保険者保険料について、第6期計画から第7期計画にかけては据え置きだったと思いますが、今後は上がっていくのですか。

会 長 軽度認知症の人に対する取組は全国的な傾向かなと思います。個人的な意見になりますが、介護保険料や医療保険料は増やすべきだと思っています。施設の増床・増員を進めるにしても、働く人がいて初めて機能するものであり、介護

士、看護師、保育士の給料は上げるべきだと思っています。そのためには施設にお金が入る必要があり、職員がしっかり働いたうえでのサービスだと思うので、保険料は上げないといけないと思っています。ただ、人によって貰える年金額は違うので、その辺はしっかりと見ていかないといけないと思います。

事務局 委員ご指摘の認知症の課題については、市としても重要であると考えています。今年度から新たに認知症機能検診をスタートさせており、4月5月の実績で約100人に実施しました。その中にはMC Iの人の発見は無いですが、疑いありの人が2名見つかっています。後程、資料5で改めて説明します。

事務局 会長からの説明、委員のご質問のとおり、6期から7期にかけての保険料は据え置きでした。7期から8期にかけては今後、決定していくわけですが、後程ご説明する8期計画策定に向けたアンケートの中に保険料に関する質問があります。今後の保険料についての意見を聞きながら、また介護サービスの需要と供給のバランスを見ながら、介護人材の確保も含めて今後の方向性について協議・検討し、委員からのご意見をいただきたいと思っています。人材確保についても処遇改善や介護負担の軽減など、8期計画策定に向けた国の制度改正も進められています。市としても奨学金以外に、魅力的な職場として選ばれる政策を考えているところです。

委 員 資料2の31ページに収納率向上のために滞納処分の実施と書いてありますが、どのようなものですか。

事務局 保険料収納率を上げて財源を確保することは大変重要であると考えています。通常は年金天引きの特別徴収で、収納率は100%になります。65歳になったばかりの人や年金額の少ない人など、普通徴収の人に納め忘れがあり収納率が下がります。今後の対策としては、口座振替の利用促進、手続きの簡略化等を進めていきます。高額所得者の滞納も実際にいるので、収納対策課と連携しながら催告を強化していきます。低所得者の滞納については、不能欠損によるサービスを受ける際の給付制限に繋がらないよう、早め早めの対応に努めていきます。これらを実施しながら収納率アップに努めていきたいと思っています。

委 員 介護サービスを受けられないということが無いよう、しっかりと対応してください。

会 長 この98.7%というのは他の市町村と比較して高いのですか、低いのですか。

事務局 確認して、次回の委員会で報告します。

委員 射水市でも認知症カフェは開催されていると思いますが、「認知症の人と家族の会」では県内4か所で行っています。富山会場は週1回、高岡会場は週2回、井波会場で週1回、朝日会場で週2回行っています。射水の方は富山か高岡のカフェに参加して、近所のカフェでは相談できないようなことを話していかれます。射水市のカフェと高岡市のカフェとで意見交換や情報交換などをやっていますか。また認知症の家族の方は介護しながらなので、いつでもカフェに参加できるというわけではないです。京都などは電話でも相談できる体制がありますが、毎日どこかでカフェが開催されている体制があればいいと思いますが、どのように考えていますか。

事務局 いつでもカフェに参加できる体制は非常に重要だと思っています。射水市は、現在6か所でカフェを実施しています。射水万葉苑、七美ことぶき苑、大江苑、太閤の杜、射水市民病院、真生会です。認知症家族の会の方が参加しているかどうかは把握していませんが、その病院に通院している人、支援センターで関わりを持っている人が主に参加しています。市としては介護者支援が重要と捉えており、いただいた意見について検討してまいります。

委員 この中に「きららか射水100歳体操」に参加したことのある人はいますか。私はこれをやれば射水市民全員が100歳まで生きられると思いつつやっています。皆さんにもぜひやっていただきたい。

事務局 大変嬉しい意見です。市内には131のグループがあり、中には3年以上続いているグループもあります。コロナウイルスの影響で休止していましたが、6月1日から感染症予防に配慮しながら再開したところです。今後も長く続けられる工夫をしていきたいと思っています。

委員 介護保険サービスを使える場合と使えない場合があるのはどうしてですか。知人が半身マヒになった時に、病名が違うので介護保険は使えませんかと言われました。

事務局 40歳以上64歳未満の2号被保険者については、高齢化に伴い生じる16疾病に該当した場合に介護認定の対象になります。

委員 病名によって差別があるということでしょうか。

事務局 2号被保険者が16疾病以外の病名で、体に障害が残った場合などは障害福祉サービスとして介護保険と同じようなサービスを受けることができます。

委員 資料2の32ページにある「いみず企業見学バスツアー」ですが、5つのコースがあり、必ず福祉コースが入っています。昨年度は中止になったとのことですが今年度の予定はどうか。ぜひやっていただきたいと思います。

事務局 「いみず企業見学バスツアー」は商工企業立地課が商工会議所、市内の企業とタイアップして行っています。福祉のコースとしては介護老人保健施設や保育園、市民病院などに協力をいただいています。今年度も実施されるのであれば、協力をお願いしていきたいと思っています。

事務局 [議題(2) 第8期介護保険事業計画の策定について 説明]

委員 資料3-1の29ページに市が力を入れていくべき高齢者福祉施策について書いてありますが、介護サービスを実施するのは介護職員や介護支援専門員であり、その人員の確保が難しいと感じています。これは射水市だけでなく全国的な問題だと思います。バスツアーや奨学金など、新規の人材を確保するための施策も必要だと思いますが、今いる職員が辞めないことを考える施策も必要だと思います。先ほど会長の発言にもありましたが、職員の給料を上げることも必要だし、腰痛対策として介護ロボットの購入費用やICTなどの整備補助も考えてほしいと思います。

事務局 貴重な意見ありがとうございます。今後の状況を見据えながら検討していきたいと思っています。

事務局 [その他 保険者機能強化推進交付金を活用した保健福祉事業について 説明]

副会長 全体のまとめとして、保険料について、アンケート結果を見ると「介護サービスの充実よりも保険料を高くしないようにしてほしい」という意見が多くあります。充実した介護サービスを受けるためには職員の給料改善や処遇改善も必要であることを市民に理解してもらい、市民が納得して保険料が払えるようにしていく必要があると思います。

会長 何か意見がありますか。(意見なし) みなさまには、熱心に議論をいただき、ありがとうございました。これにて終了いたします。